

平成13年
8月10日
第109号

発行集 守谷町議会広報会
編集 守谷町議会委員
TEL (0297) 45-1111(内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち 議会だより

もくじ

- ①ページ 議決内容・臨時会
- ②ページ 一般質問
- ⑦ページ
- ⑧ページ 議長日誌、定例会日程



守谷市とすることについて全会一致で可決

守谷町を守谷市とすることについて
(茨城県知事に申請)
守谷駅周辺一帯型土地画整理事業区域を
中央一丁目から四丁目と設定

平成13年第2回定例会が、去る6月7日から15まで、9日間の会期で開かれました。
今回の定例会には、町長提出議案21件、諮問1件、報告8件、議員提出議案2件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

第2回 定例会

- 報告
- 平成12年度守谷町一般会計継続費繰越しについて
- 平成12年度守谷町一般会計繰越明許費について
- 平成12年度守谷町公共下水道事業特別会計繰越明許費について
- 平成12年度守谷町介護保険特別会計繰越明許費について
- 平成12年度守谷町土地開発公社決算について
- 平成13年度守谷町土地開発公社予算等について
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 石塚勝一氏(守谷町大字鈴塚188番地67歳 再)
- 条例改正
- 守谷町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴うもの。
- ★委員の任期を2(一)年から3年に改正するもの
- 守谷町政治倫理条例の一部を改正する条例
- 守谷町情報公開審査会条例の一部を改正する条例
- 守谷町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例
- 守谷町社会教育委員に関する条例の一部を改正する

- 条例
- 守谷町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 守谷町図書館協議会設置条例の一部を改正する条例
- 守谷町文化財保護審議会条例の一部を改正する条例
- 守谷町青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例
- 守谷町保育所入所児童選考委員会設置条例の一部を改正する条例
- 守谷町心身障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 守谷町緑の保全と緑化の推進に関する条例の一部を改正する条例
- 守谷町ラプホテル建築規制に関する条例の一部を改正する条例
- 守谷町防災会議条例の一部を改正する条例
- 平成13年度補正予算
- 一般会計
- 歳入歳出それぞれ1億4476万4千円の増額並びに債務負担行為の追加及び地方債の変更で、総務費は一般管理総務費及び片内LAN経費の増額並びに企画総務費の減額、民生費は児童クラブ運営事業費及び児童館施設維持管理費の増額並びにファミリーサポートセンター事業費の組み替え、農林水産業費は農業集落排水事業特別会計繰出金の増額、教育費は自治公民館建設事業費の増額。
- 公共下水道事業特別会計
- 歳入歳出それぞれ26万2千円の増額で、西板戸井農業集落排水処理場の汚泥を公共下水道事業で受け入れて処分するもの。
- 守谷駅周辺一帯型土地画整理事業特別会計
- 歳入歳出それぞれ2億7千万円の増額で、家屋移転補償調査業務及び補償費の増額。
- 農業集落排水事業特別会計
- 歳入歳出それぞれ405万2千円の増額で、枝線工事に伴う工事請負費、処理施設の汚泥運搬に伴う委託料及び汚泥の処分に伴う繰出金の増額。
- 工事請負契約の締結
- 守谷町立黒内小学校耐震補強・改修工事
- 耐震補強工事として耐震壁新設、改修工事として内装改修、給排水設備の取替え。
- 町の区域の設定について
- 守谷駅周辺一帯型土地画整理事業区域において、新しい町の区域を設定するもの。
- 守谷町を守谷市とすることについて
- 昨年10月に実施した国勢調査の結果、市制施行の第一要件である国勢調査人口が5万351人と確認され、去る5月24日付で総務省から、本町の市制施行に異議がない旨の回答をいただいたことから、地方自治法第8条第3項の規定により、茨城県知事に申請するもの。
- 議員提出議案
- 輸入の急増を抑え産業基盤を守るため一般セーフガードの本格発動と対象品目の拡大を求める意見書
- 大阪池田市児童刺殺事件に関する意見書
- 請願・陳情
- ★採択
- 輸入の急増を抑え産業基盤を守るため一般セーフガードの本格発動と対象品目の拡大を求める陳情
- ★継続審査
- 国民健康保険税値上げ反対等に関する請願
- 継続審査中の請願・陳情
- ★継続審査

臨時会

○都市計画道路郷州・沼崎線のルート及び計画の変更についての陳情
陳情事項1、3

去る4月20日に第3回臨時会が開催されました。

●専決処分事項の承認

★潮来町が牛堀町を編入合併し、潮来市となることに伴うもの。

○茨城県債権管理機構規約の変更について

○茨城県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減について

○守谷町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の一部を改正する政令に基づき、個人住民税の譲渡益課税に関する特例の延長並びに固定資産税に関する特例措置の創設に伴い申告書等の記載事項を定めたもの。

○守谷町都市計画税条例の一部を改正する条例

都市計画法及び建築基準法の一部を改正する法律に基づき改正するもの。

○守谷町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律に基づき改正するもので、商品先物取引等に係る雑所得等に係る課税の特例が創設され、同所得が所得額から分離されることとなったが、国民健康保険税については、従来どおり、当該雑所得等を所得割の算定基礎に算入するという課税の特例を定めたもの。

●守谷町教育委員会委員の任命について

○岡賢市氏(土浦市大字右初1994番地の8560歳 新)

一般質問(要旨)

本定例会における一般質問は、去る6月13・14・15の3日間にわたって行われました。質問には12名が登壇し、活発な質問が行われました。

質問内容

梅木伸治 議員…P 2

- 1 職員の職務分担について
- 2 入札について

松丸修久 議員…P 2

- 1 市制に向けての行政改革について
- 2 守谷駅周辺土地区画整理事業について
- 3 少子化対策事業について

伯耆田富夫 議員…P 3

- 1 公団地内に於ける雨水対策
- 2 大野公民館の現状について
- 3 町内の治安の悪化について

中田孝太郎 議員…P 3

- 1 南守谷105街区について
- 2 守谷中学校の改築について
- 3 保育所行政について

又未成人 議員…P 4

- 1 特徴ある学校をめざして
- 2 105街区と南守谷調整池について
- 3 守谷町の産業と農業政策について

栗橋義三 議員…P 4

- 1 民間機空域対策について
- 2 家電不法投棄について
- 3 学区完全自由化について

小関道也 議員…P 5

- 1 老人福祉政策の充実を
(自主的活動の支援と財源面)

平野寿朗 議員…P 5

- 1 みずき野けやき通りほか歩道の改修について
- 2 南守谷始発高速バスの現状と改善について
- 3 国政の評価について

中村信行 議員…P 6

- 1 学校給食の選択制導入について
- 2 「緑の基本計画」について
- 3 国保会計の現状と改善点について

長江 章 議員…P 6

- 1 ゴミ処理問題のその後について
- 2 105街区について
- 3 土地改良区について

西巻健治 議員…P 7

- 1 陳情(子育て支援)の具体的な取り組みについて
- 2 新教育長としての所見について

松本明子 議員…P 7

- 1 教育長の教育観について
- 2 少子化対策について
- 3 国保会計について

※ 紙面の都合により、通告事項の内容が一部掲載されていない場合があります。

《一般質問答弁者》

町長	松丸修久
助役	梅木伸治
教育長	松丸修久
総務部長	松丸修久
生活経済部長	松丸修久
保健福祉部長	松丸修久
都市整備部長	松丸修久
教育次長	松丸修久
生活経済部次長	松丸修久
都市整備部次長	松丸修久
水道事務所長	松丸修久
生活環境課長	松丸修久
農業委員会事務局長	松丸修久

職員・職務に喝!

梅木 伸治 議員

梅木議員 先日、大阪の池田小学校で刺殺事件が起きたが、私もPTAの役員をした立場から、子どもたちの安全対策は絶対に手を緩めてはいけないと、あらためて感じた。

日頃から、防災訓練等と同じように、さまざまな事態に備え、防衛訓練等の対応をしなければならぬと思うがどうか。

教育長 守谷町においては、こういうことが起きないように、全力を尽くしていきたいと思う。

梅木議員 平成13年度の人件費削減のポイントを伺いたい。

助役 今回、部長の適任性という意味で、課長職5年以上経験者を対象に、論文を提出してもらい、これを一つの基準にした。

梅木議員 地方公務員法には「職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、かつ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げ、これに専念しなければならない」とあるが、これに専念しなければならない

「ならない」とあるが、これを十分自覚していただきたいと思います。

職責(入札)の追及

梅木議員 平成12年度中学校教育用パソコン機器導入について、入札までの流れを、仕様書の作成等も含めて伺いたい。

教育次長 業者1社に見積もりを依頼し、それをもとに町職員、学校職員で検討し予算化をした。

購入に際しては、コンピュータ推進委員会等において精査し、ベースになるものについては、業者に依頼し仕様書を作成、その後入札執行という形をとっている。

梅木議員 入札までの流れで問題を感じるが、助役 今のところ、パソコン等の新しい業務関係は、見積もりに頼らざるを得ないこと、それと業者の選定の仕方がどうであったのか



郷州小でのパソコン授業

と考えている。梅木議員 今回、6100万円という大きなお金を使うわけだが、これは市場の金額はまったく調査せず、多分そのスペックも、内容も全然わからない状況だったのかと思う。

庁舎内パソコンは全部一社独占的であり、また、そこに見積り依頼をし、その業者が仕様書を作成する。終始一貫、この1社だけである。

これは、そこだけを聞くと、企業と行政が癒着しているかのような、誤解をまねくおそれもある。今回の仕様書の内容も含めて、とても常識では考えられない金額で落札されており、これらのことについては、職務の怠慢ではないかと思う。

助役 指摘のとおり、わからないというところではなく、わかるような勉強は当然必要だと思う。梅木議員 一番の問題は、見積りを1社しかとらず、そこが仕様書を作成したことである。今後は、時限的あるいはこの案件だけはやってみようとか、それと併せて、住民に対して、まず発注仕様書、次に、入札金額等、全て公開すべきではないかと思うがどうか。総務部長 早急に、実施の方向でいきたいと思う。これは、別件だが、先日庁舎内のコンピュータ購入について入札を行い、その結果、予定価格の約6割で落札をしている。これまでの1社が見積もり仕様書を出し、入札を行うということは、物品購入も含めて、今後はやってはいけないと考えており、これから努力していきたい。梅木議員 住民が受けた不利益に対しては、損害賠償で責任を問うべきだと私は思う。

担当者の職務怠慢から始まり、そこに入る業者等、是非、意識改革を行い、システムを作り、他の市町村にないパイオニア的な一歩進んだ対応をしていただきたいと思う。また、ケヤキの街路樹の剪定した枝などを業者が自社の所有地内で焼却しているが、法的な問題をどう考えているか。梅木議員 自分たちで決めたものであると思うが、これに対する見解を伺いたい。助役 確かに焼却していたというところで、それに対しては申しわけないと思っています。

市制に向けての行政改革について

松丸 修久 議員

松丸議員 来年度の3月までは人事評価システムが構築される予定であるが、評価のベースになるその職務と、間違いを正していくシステムをそこに加えないと、

どこでもチェックされないという悪循環になってしまうだろうと懸念しているがどうか。

梅木議員 自分たちで決めたことであり、守らなければいけないし、最後までしっかりとした調査が必要である。今後あった場合、職務怠慢以外の何ものでもないと思うがどうか。

助役 指摘のとおり、守谷町に住んでよかったといわれるように、頑張っていく。それには職員の資質が問われると思うので、私を筆頭に勉強させていただきたい。

梅木議員 入札に関しては、議員として、きちっと監視をしていかなければならぬ。個人的に今回は反省もさせていただいた。

これからの、いろいろな勉強をさせてもらいながら、町民の意図するところに届くように、今後も初心を忘れることなく、精いっぱい町のために、職員と共に頑張っていきたい。

松丸議員 町で把握している団体は48団体と記憶しているが、今100ともそれ以上とも言われているボランティア団体は何らかの形で結集できれば非常に頼もしいし、また行政サイドとしても住民との距離を短くして、住民からの声を直接聞けるという場もあり、ぜひ早急に具体的な計画を示していただきたい。

松丸議員 審議会等の設置に関する指針が出され、国レベルでも審議会のあり方が問われているが、審議会というものの認識、またその必要性について見解を伺いたい。総務部長 審議会、協議会には法的に認められている都市計画審議会のような諮問機関的なものや、計画立案をする性質のものがあるが、市制に向け、統合、廃止を含め、見直しを図っていききたい。

守谷駅周辺土地区画整理事業について

松丸議員 守谷駅周辺区画整理事務所の担当する事業費258億円の内容を伺いたい。

都市整備部長 都市計画道路、2つの駅前広場、通常の区画を区切っている道路、都市公園、宅地の造成費、上下水道、ガス、家屋の移転補償費等であり、最小限の整備となつていく。それ以上の、茨城の玄関口にふさわしいグランドアップ事業については、町単独事業となり、駅前広場にあるバスの待合所、バスシエルト、タクシーの乗り場、街路樹等の施設については、区画整理事業に負担を強いるのは過重であると考えている。

松丸議員 区画整理地内の
保留地が1万6097・1
平米、約4800坪、その
保留地の処分予定価格が44
億円、一坪90万円で設定さ
れており、一般的には高い
と思うが、その根拠を伺い
たい。

都市整備部長 保留地の処
分時期については、新線が
開通したということも前提
に設定しており、取手駅
周辺で坪100万円程度で
取引した事例もあると聞い
ており、その価格等を考慮
すると大きな相違はないと
思う。

松丸議員 この90万円とい
う数字に対し、信頼の持て
る、安心できるような対策
等は検討されているか。

都市整備部長 価格が下が
った場合を当然考慮して、
事業経費の削減については
常日ごろから心がけ、新た
な補助金の導入により、従
来以外の収入を見込んだ形
で対応していきたい。

松丸議員 リスクヘッジと
いう部分は、慎重に審議を
し検討を進めていただきた
い。

**少子化対策
事業について**
松丸議員 預かり保育の問
題について、今後の計画を
伺いたい。

教育次長 52名の待機児童
があり、女性の社会進出が
目覚ましく、積極的に子育
てを支援していくためにも
幼稚園の預かり保育は大変
重要であると考えており、
私立幼稚園に要請を重ね、

預かり保育が実現できるよ
う積極的に進めていきたい。
松丸議員 52名ものお子さ
んを保育所に預けられなく
て困っているという状況で
あり、目の前に迫った問題
であるので、1日でも早く
対応策を検討していかなく
ればいけないし、また、別
の方法を考えていくという
ことも必要だろうと思うの
で、早急な対応をお願いし
たい。

大野公民館の現状について

伯耆田富夫 議員

教育次長 基本的には中学
校区に1館という形で地区



老朽化が目立つ大野地区公民館

大野公民館はそういう公
的な使用にそぐわなくなっ
て来ているのが現状である。
町内のある公民館に至っ
ては、広大な敷地、予算を
ふんだんに使い、特注の輸
入品を組み込んだ公民館も
あるようである。町民ひと
しく行政のサービスを受け
る権利があると思うが、雨
漏りのする公民館では余り
にも差があり過ぎると思っ
てどうか。

伯耆田議員 大野公民館は
昭和33年に建てられ、大野
公民館兼講堂と呼ばれ、大
野小学校の入学式等の行事
体育館ができるまでは室内
運動の場として、また地域
における予防接種、健康診
断、選挙投票所等に使用さ
れてきた。

現在、大野地区文庫が
本の貸し出しに、そしてP
TA及び公民館の協力員が
話し合いの場として活用し
ている。

この構造物は、昭和中期
に建てられた歴史のある建
物であり、大野地区の人は
催し物、そして会合のとき
は、何れも何れもよく使っ
てきた。けれども、使ってい
るが、それでも白い靴下は
真っ黒になってしまいう始末
である。数年前からは、選
挙投票所としても使わなくな
り、地域の健康診断にも
使わなくなった。

公団地内における 雨水対策

伯耆田議員

南公団地内の
雨水対策について伺いたい。
都市整備部長 南守谷公団
内の雨水排水は3系統によ
って排出されており、一つ
は羽中川、一つは稲子田排
水路、もう一つは五反田川
と3系統に分かれている。

地区別には、けやき台一
丁目から四丁目と国道29
4号線から本宿、高野小学
校に通じる道路の取手側に
ついては羽中川へ、松ヶ丘
三丁目を除く松ヶ丘の全地
区、けやき台五丁目及びけ
やき台六丁目の一部につい
ては稲子田排水路へ、ジョ
イフル本田とその前面の松
ヶ丘三丁目、けやき台六丁
目の一部、公団区域外の鈴
塚地区及び本宿地区の一部
については、五反田川へと
3系統の排水になっている。

伯耆田議員 羽中川には南
守谷調節池があるが、稲子

田川、五反田川は落とし堀
からダイレクトに入っており、
ジョイフル本田関係の
水は、五反田川の方にダイ
レクトで流れている。この
店舗は、当初の出店面積と
比べると3倍以上になって
おり、万が一、水量増加も
しくは油類、また薬品類が
水路もしくは田んぼに流出
したとき、行政としてどう
対処するのか伺いたい。

町内の治安 悪化について

伯耆田議員

町内では近年、
車の盗難、車上泥棒、ごみ
の不法投棄、恐喝未遂事件
おやじ狩り等のいわゆる都
市型犯罪が多発している。

守谷町には、現在久保ヶ
丘、守谷の2カ所の交番で
町民の暮らし、生命財産を
守っているが、いまだに
人口増イコール犯罪発生率
の上昇、都市型犯罪が多
くなった現状を見るならば、
町内にもう1カ所交番があ
ってしかるべきではないか
と思うがどうか。

町長 以前、警察本部にう
かがい増員、あるいは警察
署の設置をお願いしている
が、警察署の設置までには
ちよつと時間がかかると思
う。例えば、みずき野地区
にはアメリカ地区、そして以
前大野地区にもあったよう
に、駐在所ができたかとお
願いをしたが、今はなかなか
駐在所ができないそうであ
り、南守谷地区の方に何と
か交番をお願いできないか
ということ、現在、県の方
にも取手警察署を通じてお
願いをしているところであ
る。

伯耆田議員 是非、早期に
実現できるよう関連機関に
強く働きかけていただき、
守谷の治安のよさを堅持し
ていただきたい。

南守谷105街区について

中田孝太郎 議員

中田議員 南守谷地区の旧
いなげや前の、都市基盤整
備公団開発地域(105街
区)は、都市基盤整備公団
守谷町、茨城県等の協議を

経て、用途地域が決定され
現在、第一種中高層住居
専用地域に指定されており、
ここに最近の新聞報道で「西
友・楽市」の出店という記

事が掲載されていた。

この出店に際し、今まで
の経過と内容を伺いたい。
総務部長 2月8日に、都
市基盤整備公団から、この
約10ヘクタールの土地利用
について、商業地を約4ヘ
クタール、残り6ヘクタール
を住宅地にしたいと説明
があり、その後、3月の定
例会、さらに4月には西友
の社員を交えて概要の説明
をさせていただいた。

中田議員 来年の秋頃、開
店したいということだが、
事前に町の担当課に来たの
はいつか。

助役 10月6日に、土地利
用について、最良の方法で
進めたいので、公団と町と
で一緒になって協議をした
という話であった。

中田議員 町の総合計画を
踏まえ、慎重に受け入れ態
勢をとらなくてはならない
と思うが、町民の代表であ
る議会に説明されたのが、
約5ヶ月後では、町長がい
つも言っている住民の目線
に立った、対話と協調の行
政からはだいぶかけ離れて
いるような気がする。

今後、このような説明に
ついては、迅速にお願いし
たい。

この出店に際し、交通対
策等、問題がでけると思
うが、いつ、どのように対
応していくのか。

助役 今の段階では、まだ
届け出はされていないが、
事前にどういう問題が出て
くるのか、検討し対応して
いかなければならないと思
う。

中田議員 一番の問題は、
ふれあい道路や国道294
号線の混雑等の対策で、事
前に町が受け皿をつくって
おくことが重要だと思う。
ぜひ、関係各課で事前に
対応策を講じていただきた
い。

保育所行政 について

中田議員

守谷町には公立
私立あわせて4つの保育所
があり、昨年度に引き続き、
今年度も52名が待機児童に
なっている。

これらの対応について伺
いたい。
保健福祉部長 平成12、13
年度と一気に加増しており、
当面は、幼稚園の活用を図
るべきだろうと考えている。

中田議員 制度的、あるい
は補助金等で、保育所と幼
稚園では異なるのではない
かと思われ、幼稚園がそれ
を受け入れないということ
もあるのではないかと。

それよりは、市制をひか
えた守谷町は、今後人口の
増加が見込まれ、共働き
世帯も増えることが予想さ
れる。
やはり、安心して預けら
れる施設を、町として設け
るべきではないのか。

町長 今後の推移を見て、
新設も視野に入れながら、
幼稚園との協議を進めた上
で、考えていきたい。
中田議員 男女共同参画社
会の中で、女性の職場進出
も非常に多くなっており、

今後の少子化対策の一環として、早急に取り組んでいただきたい。

守谷中学校の改築について

中田議員 町内の小、中学校は、それぞれ建築年度が違い、比較的新しい学校は、設備も機能も充実しており、古い学校は、そのままの所も多い。

この施設の格差については、さまざまな問題があるのではないかと。特に、守谷中学校については、外構等の整備はされ



建て替え予定の守谷中学校

たが、同じ教育を受ける子供たちには、同じ施設で学んでもらいたいという点から、子供たちの教育施設として、適当かという点、非常に疑問を感じる。

特徴ある学校をめざして

又未 成人 議員

又未議員 大阪府で小学生の殺傷事件が起き、誠に残念に思うが、この事件に対し町長の思いを伺いたい。

又未議員 学校は一番安全で、安心して勉強の出来る所であり、無抵抗の子供たちを刺殺した卑怯な事件に対し、胸が詰まる思いである。

教育長 不審者に対する情報の提供等の情報網の整備、一人では帰さないという、集団下校や帰る時間帯を保護者に伝える等の対策を取っている。

又未議員 守谷町の教育の現状と希望を伺いたい。

教育長 活動的であり、そして明るい子供が多く、学習に対する取り組みも意欲的である。

又未議員 必要なのは、教職員の資質の向上であり、指導室を中心とした指導力と人間性を高めていきたい。

又未議員 現在、区域外通学者は何名いるのか。

教育長 34名である。

又未議員 通学区を廃止した場合のメリット、デメリットを伺いたい。

教育長 メリットは、学校選択の自由と学校や先生方の競争意識の発展がある。

デメリットは、入学予定者が40人いたが、実際に入学したのは10名しかいない等、学校間の色分けが出来てしまうことである。

又未議員 新線開通等での見直しは必要と考えており、今後、守谷町通学区区域審議会が審議していきたい。

又未議員 105街区の利用計画と、町が検討している中心市街地活性化事業との整合性について伺いたい。

生活経済部長 つくばエクスプレスの開通に向け、既成の商店街を考えると、中心市街地活性化事業をつくり、商工会が中心になり、関係者と協議をすることになっている。

又未議員 実施計画はいつになるのか。

生活経済部長 平成14年度以降になると思う。

又未議員 事業の実施まで苦労もあると思うが、商業者の意向を酌みながら進めていただきたい。

次に、南守谷の調整池について伺いたい。

調整池の改善を県に要望してあるが、その回答を伺いたい。

都市整備部長 高野土地改良区との連名で、知事に要望をし、本年6月に回答があった。口径80センチメートルの放水口を、10センチメートルに改良する等の回答である。

又未議員 羽中川の下流では、ハウスのイチゴ栽培が行われており、水害をなくすために南守谷調整池には水門の設置をお願いしたい。

次に、常磐新線の変電所設置場所について、決定までの経過を伺いたい。

都市整備部長 5、6キロメートル間隔に変電所を設けるのが通常で、千葉県側から7キロメートル地点であり、車両基地の変電設備も兼ねることから、現在の場所に決定した。

又未議員 もう少し小貝川寄りに設置し、住宅地より離れるようにしてほしいがどうか。

都市整備部長 鉄道建設公団には、住民に迷惑をかけた場合は、補償で対応するよう申し入れてある。

又未議員 その辺をきちっとしていただきたいと思う。

南守谷105街区と南守谷調整池について

又未議員 町の農業に対する基本的な考えを伺いたい。

生活経済部長 都市化が進み農家も少なくなっている。今後の農業への対応について、先般の農業懇談会では、いかに都市型農業にしていけるかという点で、守

谷町の産業と農業政策について

又未議員 町の農業に対する基本的な考えを伺いたい。

生活経済部長 都市化が進み農家も少なくなっている。今後の農業への対応について、先般の農業懇談会では、いかに都市型農業にしていけるかという点で、守



羽中川下流地域

大木流作地区の移転事業について

又未議員 この件に関し、農林水産省へ直接陳情しており、前向きな検討をしていくという話である。町にも積極的な対応をお願いしたい。

生活経済部長 住宅地は対岸の大木地先、酪農舎は現在の所で鬼怒川と利根川の合流点を盛土し、経営したいと言っており、今後は、財源的なものも含めて詰めていく必要があると考えている。

又未議員 この点について町長の考えを伺いたい。

町長 当然、積極的に進めていく考えであり、早急に詰めていきたいと思う。

又未議員 生活基盤整備も含め、早い段階に移転が出来るよう、協力をお願いしたい。

生活経済部長 まとまった段階で、早急に事業課等と財源的なものも含めて十分調整していきたい。

軽飛行機緊急時の体制について

栗橋 義三 議員



利根川左岸の軽飛行場

栗橋議員 去る5月、三重県桑名市の上空で日本航空所属のヘリコプターと小型機が接触し、住宅地に墜落した事故は、地上の住民も巻き添えにした、大惨事につながりかねない事故であった。遊覧飛行用のヘリコプターや自家用機など、日本の空を飛ぶ小型機は2千数百機、民間訓練飛行区域は全国で47カ所、小型機の場合、管制の指示を受けず、パイロットのみで自分の目で安全を確認する

有視界飛行方式が大多数を占めており、操縦者の見張り義務が、改めて指摘されているところである。

栗橋議員 守谷町では、今、大型団地が各地域にできて

おり、美園地区、みずぎ野地区、北団地等住宅の密集地をなるべく避けて通るような行政指導はできないか伺いたい。

生活経済部長 利根川にある飛行場からは、住宅地には近づかないということになっており、当然、住宅の上を飛ぶということはない。

栗橋議員 騒音の問題も各地域から出ていると思うので、その点も今後、町として取り組んでいただきたい。

又未議員 資源の有効利用を目指して、家電リサイクル法が本年4月より施行され、全国の自治体の6割で、逆に不法投棄を増加させる結果になっていることが、環境省の調査で明らかにされたことである。

この調査は、対象となるテレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機の4品目で、4月1カ月の不法投棄台数は、86自治体、全体で1986台、前年4月より400台以上ふえ、品目別では、テレビの増加が目立ち、全体の半数近くを占め、東京都の場合、23区内の不法投棄は474台で、1カ月で少なくとも150万円以上かかっている。

本町の監視体制はどうなっているのか伺いたい。

生活経済部長 4月1日から家電リサイクル法が施行され、今まで無料で引き取っていたものが料金がかかるというので、不法投棄が懸念されたが、本町においては、幸い地域の皆さん方、あるいは町のパトロール等により、4月以降、現在のところ冷蔵庫2台、洗濯機3台、テレビ3台の

栗橋議員 資源の有効利用を目指して、家電リサイクル法が本年4月より施行され、全国の自治体の6割で、逆に不法投棄を増加させる結果になっていることが、環境省の調査で明らかにされたことである。

この調査は、対象となるテレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機の4品目で、4月1カ月の不法投棄台数は、86自治体、全体で1986台、前年4月より400台以上ふえ、品目別では、テレビの増加が目立ち、全体の半数近くを占め、東京都の場合、23区内の不法投棄は474台で、1カ月で少なくとも150万円以上かかっている。

本町の監視体制はどうなっているのか伺いたい。

生活経済部長 4月1日から家電リサイクル法が施行され、今まで無料で引き取っていたものが料金がかかるというので、不法投棄が懸念されたが、本町においては、幸い地域の皆さん方、あるいは町のパトロール等により、4月以降、現在のところ冷蔵庫2台、洗濯機3台、テレビ3台の

栗橋議員 守谷町では、今、大型団地が各地域にできて

栗橋議員 守谷町では、今、大型団地が各地域にできて

栗橋議員 守谷町では、今、大型団地が各地域にできて

栗橋議員 守谷町では、今、大型団地が各地域にできて

栗橋議員 守谷町では、今、大型団地が各地域にできて

不法投棄があつたのみで、それらについては、暫定的に国道沿いにある旧簡易水道事務所に一時保管という措置をとっている。

栗橋議員 町民の方や郵便局とタイアップして通報する制度も、今後検討する余地があるのではないかとと思うがどうか。

生活経済部長 以前に道路関係で、郵便局の配達の方、さん方や農協の職員さんに協力をお願いし、道路の悪いところがあつたらご連絡くださいということとで実施した経緯があり、今後、町内をそういう形で巡回される、あるいは移動される皆さん方にもご協力いただくような形で進めていきたい。

学区完全自由化について

栗橋議員 学区完全自由化

教育長 これだけ自由化という問題が出ており、協議内容の中には、当然入ってくると思う。

老人福祉政策への提言

小関 道也 議員

・町の老人予算と高齢者の状況

小関議員 最近、医療給付費の増加傾向に、国保税の値上げの機運が出ており、この町においても、考えざるを得ない状況にきているということであり残念であるが、医療費の増加を嘆くより、お年寄りが元気で暮らせる施策を充実させることが、必ずやあしたの老人医療費の抑制をするもの、かたく信じるものである。

また、お年寄りを大切にすることが、家庭円満につながるが、また子供たちの情操教育にもいい結果を及ぼして、現代社会をむしろんでいる諸問題解決にも効果



元気で暮らせる施策の充実を！

町長はどんなふうな老人問題を考えるか、見解を伺いたい。

町長 戦後復興の立て役者ということ、常に敬意を

持つて接し、そしてこれからお年寄りに対してできるだけ外に出ていただき、健康な生活をしていただきたいと願っている。

・町の支援状況と施策

小関議員 町では、生きがいのある生活をしていただく方向にどの程度の予算が準備されているのか。また、お年寄りの皆さんの自主的な活動の実情、高齢人口はどの程度か、さらに町としての支援状況を伺いたい。

保健福祉部長 高齢者に対する医療、介護を除いた分は、13年度予算では、1億4千万円弱を計上している。内訳は、敬老会、老人クラブに対する助成、介護予防の生きがい支援、げんき館等である。

老齢人口は6月1日の最新のデータで、60歳以上が7603人で、人口の約15%に当たる。65歳以上で5307人、10・5%、70歳以上で3597人、7・1%という状況であり、これについても年々増加傾向にある。

自主活動としては、老人クラブ、シルバー人材センターなどがあるが、これらに対する助成、それからゴルフ等の事業についても、町が主催、各方面の主催に対する援助等を行っている。

今後、介護予防拠点の整備等、ハード的なものよりソフト的な面を力を入れていきたい。

小関議員 白寿荘関係の費用を広域圏で分担しているということがあるが、よその施設では午後10時までやっているが、白寿荘は午後4時で終わりで。

守谷町長、管理者という立場があるのであり、各副管理者の首長に対して、もつとリーダーとしての地位

を確立してほしい。

常総広域負担金の3千万円を町単独で使うことができた、もつと守谷町のお年寄りに対して優しい施策ができると思うがどうか。

町長 まだ、改善できていないところもある。至急改善する方向で詰めていきたい。

小関議員 1億4千万円の中に、敬老会事業1400万円ほど用意してあるとのことであるが、最近、他の自治体でも検討されていることであり、守谷町では、敬老会のあり方についてどんなふうにとらえているか、伺いたい。

保健福祉部長 敬老会については、対象者が多くなってきた。施設の問題、希望の多様化という中で、見直し論が出てくることは事実であるが、敬老会で再会を喜んでいたり、そこから出たいがスタートするということが見受けられ、できる限り外に出る、人と出会う、そういう形で生きがいを見つけていくということでは、この敬老会という行事は大変大事な行事であると考えている。

小泉政権の評価と市町村合併について

平野 寿朗 議員

平野議員 小泉政権にかわって、政治に国民、住民が関心を持つということだけをとっても、それは非常に効果的であつたことだと思う。

町長は、どう評価しているか伺いたい。

町長 小泉さんがあれだけ人気があるというの、自分の持論を何とか施策に反映しようという姿勢が見られ、非常にいいことではないかと感じている。

ただ、我々一番末端の地方をあげる身として、ぜひ我々の声ももう少し聞いていただければと思う。

また、地方分権一括法も成立しているわけであり、ぜひ財源の移譲を含めて、小泉さんに力を出していただければ、もつともつとやりやすくなると思う。

平野議員 国債を30兆円に抑えるということの中で、

な提案については、今後、アンケートの結果などを踏まえて考えていきたい。

・財源を考える

小関議員 この市町村も財政逼迫で住民の期待する、求めているものをやってあげられない、これが常套文句になっているが、町税の前納報奨金、納税組合関係を全廃すると約5千万円ほどのお金が浮く。

これをお年寄り関係に振り向けてほしいがどうか。

助役 12年度から見直しを行ってきたが、納税組合の役員さん何人かに集まっていた。これを踏まえての検討を進めており、もう少し時間をいただきたい。

塩川財務大臣が、国が2兆円我慢するから、地方への補助金を1兆円抑えるということも言っている。

その一環として、3千以上ある市町村を、細川内閣になる前は約1千ぐらいに縮小しようというの、一挙に300にと、しかもそれを四、五年でいつけるわけである。

この300というのは、人口30万人が一つの基準になっているわけ、もちろん大きいところと小さいところの格差があるから、均一に30万人ということにはならないと思うが、これが一つの基準である。

市町村は直接住民が接触する行政の場であり、これが本場に30万人単位が住民にとつていいことなのかどうか、私は何が何でも合併がまずいとは思わないし、

小さい方が必ずいいとも思わない。

私は、国や県あるいは地方自治体全体を含めて、行政というものは衣食住を初め、平和の問題や環境の問題、防犯の問題、そういうものが、ゆりかごから墓場まで責任を持たなければならぬと考えている。

・財政を考える

今からの地方自治体は財源を自分でも確保していくことが必要になってくる。そうし、そして自治体が本来に住民の命や健康の問題まで関与していかなければならぬと思う。そうならないと、当然限られた財源ではできないわけであり、住民の協力が必要である。

したがって、町と住民が一体となつてまちづくりをやっていくということが課題になってくると思う。

だから、当然ある自治体の中身の効率化を進めたり、むだを省いたり、民営化するものは民営化をしたり、こういうことは当然大事であるが、ところがそれが、合併によつて全体の財政の割合を少なくするということは、必ずしも住民にとってプラスにはならないと思うが、町長の見解を伺いたい。

町長 合併については、議会の了解はもちろんであるが、何よりも住民の皆さんにとつてどういうメリットがあるのかということを考えていかなければならないと思う。

それと、住民の皆さんから合併をしたほうがいいだろうという声が上がらなければ、そういう段階に入つてこないのではないかと。ただし、今、全国的に合併をしていく風潮はあるので、将来はある程度避けては通れないと思うが、早急

に進めていくべきものでもないと思う。

その時期等については十二分に検討を重ねていくべきものだと思う。

・財政を考える

みずき野けやき通り歩道の改善と高速バスについて

平野議員 まちづくりにご尽力いただいている方から手紙をいただいた。

「朝夕みずき野の皆様が散歩して健康の保持に努めている大切な場所ですが、ケヤキ、桜の街路樹の根が張り出して、アスファルトの歩道表面を持ち上げ割れ目をつくり、歩いている人が足をつまずかせ転倒する危険な場所です。私は、犬の散歩中に足を引っかけて転倒し、ひざを痛めてしまいました。」



みずき野けやき通り歩道

みずき野も団地造成から約20年たつているわけであり、これをぜひ改修していただきたいがどうか。

都市整備部長 現地を確認して、特に危険な箇所については早急に補修をしたい。

なお、県管理の都市計画道路の一部があるが、これについては県の方に補修を要望していきたい。

平野議員 南守谷駅始発高速バスの現状と改善について、南守谷発東京行きバスが開通してまだ1年もたっていない段階であるが、聞くところによると、路線バスの

安易な国保税値上げに頼らず、 国保改革に取組め！

中村 信行 議員

中村議員 平成12年度決算見込みを伺いたい。
保健福祉部長 平成12年度末国保の加入者は一般分で、9748人、退職者分1479人、老人分で2583人、合計1万3810人で、人口比較で加入率27・85%、世帯数では6238世帯、加入率39・1%。財政状況は一般会計からの繰り入れがなければ約6765万円の赤字である。
税の収納率は92・33%で、滞納額が8800万円程度になると思う。

中村議員 最近、国保税引き上げの議論があるが、背景があるのか。
保健福祉部長 老人医療の増加が著しく、リストラ等により、加入者の増加はあっても所得は減少しており、当然、現行の保険税と国庫支出金で賄えない状況である。

中村議員 過去、平成9年度に税の引き上げをした結果、収納率が3%近く下がり、引き上げ後、平成10、

規制緩和が来年2月から行われるということである。始発は現在のままで、みずき野周りで旧市街地ルートを通すということは考えられないか。
また、町として積極的にJRや関鉄さんに当たっていただくことは可能か。
総務部長 来年2月から道路運送法の規制緩和がなされるわけであり、規制緩和にあわせて、南守谷駅からみずき野、旧市街地を通って常磐道路の方に乗っていただくルートを開設していただくことは可能か。

けないか、また、もう一つの案として、戸頭駅を始発とし、みずき野の入り口から旧市街地を通って常磐道路の方に乗るルートも検討していただきたいという要望は既にしている。
平野議員 規制緩和というのは一つのタイミングだと思うので、戸頭駅始発にして、南守谷駅始発にして、みずき野というのは7千人の人口があり、そこを通過して、旧道を通してという線について、強く町としても進めていただきたい。

給食に選択制を

中村議員 学校給食には、それぞれ3つの区分がある。

まず「完全給食」とは、パンか米飯、それに、おかずとミルクがセットになったものであり、「補食」は、ミルクと、おかずであり、「ミルク給食」は、ミルクのみの給食である。
これらについては、選択をさせていこうという法改正のあらわれではないかと思う。

現在の給食は子供にとって必ずしも評判のいいものではなく、できれば月に1度の弁当持参というのも考えてみてはどうか。

また、アレルギー体質の子供には自分で弁当を持参する等、これは給食区分でいう「補食」になると思うが、このように給食の選択ができるのか伺いたい。
教育長 メニューを選択する選択制がとれたら、子供たちは楽しくなると思う。

最近、親子の関係が希薄化しているが、おふくろの味は心に残るものである。その味を学校で食べられたら子供たちは喜ぶだろう。月ないし学期の1回位、おふくろの味であるおむすびでも持ってきてみんなで食べ合えたらいいと思う。

また、アレルギーで給食が食べられない子もおり、お母さんが、メニューと同じ内容のお弁当をつくり学校で食べている。

町長 月に1回程度、お弁当の日を設けることはできないことではないので、ぜひPTAの方にも諮り、やつてもらえるような方向で教育委員会に頼んでみたい。
また、アレルギーでなくとも、弁当を持たせたいという、お母さんがあればいいのではないかと思う。

環境基本計画に沿った「緑の基本計画」を

中村議員 緑の基本計画を町で推進するための町条例の上位法は何か。
都市整備部長 基本的には都市緑地保全法である。

中村議員 この上位法に基づき、平成5年に町条例がつくられたが、以来8年間、今日まで「緑の基本計画」づくりは着手されず、その間に環境基本法ができ「都市緑地保全法」は平成6年に趣旨が変わり、改正後の「緑地」概念には「緑地」の生態系の発生が示されている。

町の「自然史」には鳥類の絶滅危惧種だけでなく、植物の絶滅危惧種が町内に散在する事を記している。そういう「緑地」を、保存するもの、あるいは復元するものを定めるのが、「緑の基本計画」であり、その角度から、都市整備部任せでなく、環境部署の生活経済部も「計画」づくりに加

わって貰いたい。
生活経済部長 環境基本条例等もある中で、策定に当たっては、担当課で十分に参加をし、環境基本計画に網羅されているものを、「緑の基本計画」の中に入れていく形で調整したい。
助役 それらを基本にさせていたいただきたいと思う。

中村議員 守谷町は都市化が進んでおり、都市空間の中での自然の復元と共存を、ぜひテーマに置いていただきたいながら、画期的な「緑の基本計画」をつくって貰いたい。

特に、これまでの都市整備部サイドだけでなく、環境審議会の意見も十分に参考にし、推進をしていただくことを期待したい。

ゴミ処理問題の その後について

長江 章 議員

長江議員 3月議会で質問した「ごみの収集計画人口」について、国勢調査人口を参考として、予測人口の見直し作業中であるとの答弁であった。

作業の進捗状況を伺いたい。
生活経済部長 昨年の、国勢調査による人口が、予想よりも少なかったということと、今回の国勢調査の結果に基づき見直しを行ったところである。

平成22年の常総広域圏内の人口を推計すると、28万9126人と予想される。人口推計については、約7方式あり、長期の人口推計は非常に難しい面がある。

長江議員 できることならば、3年から5年ぐらいの周期で調査を実施し、正確なデータをベースにした人口の推計をしていただきたい。
次に、県営住宅で行っている、コミュニティコンポスト事業のその後について伺いたい。

生活環境課長 コミュニティコンポスト事業は、いかに、生ごみを減量し、資源化をするか、ということが課題である。

でも立派に成果を上げることができると思っている。ぜひともフル稼働をするように、これからも努力していただきたい。

南守谷105街区について

長江議員 105街区（けやき台四丁目）について何点が伺いたい。
都市計画課を見ると、105街区の大部分は、第一種中高層住居専用地域であり、店舗等の床面積の制限がない準住居地域と隣接商業地域は、わずかな面積しかないが、店舗の建設に問題はないのか。

都市整備部長 一部、用途が重複するので、問題がないわけではない。
町の方でも、そういう問題があるということを伝えており、今後の課題だと考えている。

長江議員 交通への影響というところで何かが、ふれあい道路や国道294号線の渋滞はひどいものがある。そこに、約一千台の駐車場を備える大型店が進出すれば、ますます渋滞が増え、静かな住宅街の生活道路が抜け道になり、付近の住民の方からすれば迷惑な話である。

また、交通事故の発生の確率も高くなるのではないかと、交通渋滞や騒音の問題がある。

生活経済部長 守谷町には、大野・高野・守谷町外一市一ヶ村土地改良区の3つの土地改良区がある。私も、政党あるいは政治団体等については肩がわり関係については無いという回答であった。

長江議員 そういう部分では、これまでも指導なりを



西友出店予定地（105街区）

土地改良区について

長江議員 土地改良区について何が、全国の土地改良区で、自民党の肩がわりや、自民党が関わる政治団体の会費の肩がわり等が行われていたと、新聞によって報道された。
KSDや機密費問題に引き続き、自民党の腐敗した体質の一部が、またしても明らかにされた訳であり、肩がわりの総額は、17の県で4600万円余りに上っている。

茨城県はどうかというところ、自民党費が1731万4千円、土地改良政治連盟費等に26万8千円の合計1758万2千円にも上り、既に発表された県の中で、一番多い金額が自民党へと流れている。

守谷町については、町独自の調査はどういうものを行ったのか。

生活経済部長 守谷町には、大野・高野・守谷町外一市一ヶ村土地改良区の3つの土地改良区がある。私も、政党あるいは政治団体等については肩がわり関係については無いという回答であった。

長江議員 そういう部分では、これまでも指導なりを

していつていた。だいたい。前にもお願いをしたことだが、縦割り行政の弊害をなくす方向で、日々の業務に取り組んでいただきたいと思います。

新教育長の教育観を問う

西巻 健治 議員

・陳情の主旨をどう生かすか

西巻議員 3月議会で、育児の過程で発生する諸問題について質問したが、研修体制の充実を図ると言う回答であった。また、報告ではサポート事業の立ち上げという一事業の範囲にとどまっております。陳情の主旨がよく伝わっていないのではないかと。

これは、窓口を一本化出来ないうことであり、妊娠から学校教育終了辺りを一応の子育てとすれば、相談には必ず一貫性があり、複雑でありかつ専門性が必要である。相談する側からすれば、まず総合窓口で受けて、その後振り分けをしてほしいがどうか。

保健福祉部長 広い範囲での相談、対応、フォローは大変難しい問題であり、情報ネットワークを図る事で共有出来ないか研究したい。

また、幼児虐待については急務であり、関係各課でネットワークを立ち上げ、現在まで15件に対応しており、継続も含めて大事に至っていない。

西巻議員 マンパワーの確保について伺いたい。

相談の経過は、連続して行く一つの相談を忍耐強く見守る必要があり、多くの専門的なスタッフが必要であると思う。

また、まだまだ発展を続ける守谷町の行政を担うプロとして、各部署間の連絡を密にして、行政としての意思統一を図っていただくとを切に要望したい。

ういう力があつたと思うが、それが希薄になっている中で、行政がそれをやっているかなければならない。

当面ネット化という形で進めて行くが、今後どこへ相談をしても話が通るといいう体制を研修と合わせて構築したい。

・教育現場の課題は

(新教育長の所感を問う)

西巻議員 教育基本法について、教育改革国民会議の中間報告では、広く国民の間で議論する必要があるとの答申であるが、見直しを含めた議論をどのように捉えるか、見解を伺いたい。

教育長 基本法は憲法の前文を基本としており、教育の最終目標は基本法の目的と取るのが正しいと思う。

指導要領改定の中で、子供達にどういう力をつけるべきかということが議論され今日に至っており、子供達にどう生きる力を育ませてやるかを中心に据えて行きたい。

西巻議員 一部に基本法も時代の変化の中で見直すべきだとの方向も有る。

一方、基本法はその性格から憲法に準ずるものであり、従ってある程度の抽象性はやむをえない。そこに盛り込まれた普遍性の理念を活かすべきだとの意見もあるがどうか。

教育長 基本法の見直しという視点は注目して行きたい。一人一人の子供がいかに幸せになつていくかという視点に立ち、子供を中心に据えて注意深く見守って行きたい。

西巻議員 実験・体験教育について伺いたい。

基本にしている。そして地域社会を重視している。しかし地域との関係は逆に薄らぎつつある。

少子化対策として保育所・児童館の建設を

松本 明子 議員

松本議員 保育所へ入れたくても入所できない児童は、52名に達しているとのことだが、年齢別ではどうなっているか伺いたい。

保健福祉部長 ゼロ歳児12名、1歳児14名、2歳児12名、3歳児9名、4歳児5名の合計52名という内訳であり、今年になってから急に申し込みが増えている。

松本議員 待機児童のほかに、管外保育で20名の方が守谷以外にお願いしているそうだが、低年齢児の待機も含め、幼稚園の預かり保育の対象にならず、保育所建設がどうしても必要、だと思うがどうか。

また、先日、別の質問者に対しての答弁で、町長は推移を見てから決断する、また、私立の保育所や公設民営も考えるとしていたが、保育は1年も2年も待つていられないものであり、女性の社会進出も含めて、社会全体で子供を育てるという方向を考えたとき、今の状態はそこから外れていると思う。

行政はきちんと対応すべきだと思うがどうか。

保健福祉部長 保育所の建設には、1、2年かかる話であり、これからは公共事業を抑えることが行政の方向であると思う。7月にはファミリーサポートセンターがスタートするので、期待しているところである。

松本議員 サポーターとして38人が研修を受けたとのことであるが、全員が事業に参加する保証はない。臨

表1 国保税値上げの推移

年度	80	84	86	87	89	91	92	93	97
均等割(円)	5,000	5,000	6,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	13,000
平等割(円)	8,600	8,600	10,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	17,000
資産割(%)	38.0	30.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	20.0
所得割(%)	4.80	4.40	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	6.50
限度額(円)	24万	30万	35万	37万	40万	42万	44万	47万	53万

表2 (H11年度)

所得階層	世帯当り平均所得(円)	世帯当り税(円)	所得に対する割合(%)	加入世帯数	滞納世帯数
所得なし	0	29,877	—	1,328	201
33 ~ 40万	346,224	39,454	11.4	55	3
100 ~ 150万	1,192,364	103,913	8.71	531	58
250 ~ 300万	2,686,543	212,793	7.92	320	48
300 ~ 400万	3,389,869	261,958	7.73	435	69
400万以上	11,364,220	447,360	3.93	1,083	108

しかし、最近では児童クラブが全小学校に設置されたためか利用人数は減少している。

住民から整備を望む声が年々増えており、現在の規模は充分な広さではないとも思っている。近い将来、南の方に一ヶ所つくりたいということも保育所と同様に思っており、実現したいという気持ちである。

国保税を値上げせず、国保会計の救済を

松本議員 町長は3月の施政方針の中で、国保税の値上げを検討することを明らかにしたが、国保会計の値上げラッシュの原因は何なのか伺いたい。

保健福祉部長 構造上の欠陥があると思う。

松本議員 これは国による制度改悪が原因であり、1980年代の臨調「行革」の中で、社会保障制度への総攻撃が始まり、国の責任

教科書採用は歴史の事実に基づいた物を

松本議員 新しい歴史教科書をつくる会の教科書は、130ヶ所以上も訂正をされた問題の多いものである。

文部科学省の指導にも従わず、異例の市販を強行するなど採用に値しない。採用しないで欲しい。

教育長 市販されたことも、文部科学省の指導も知らなかった。教科書は公正・民主的な内容で採択する必要がありますと考えている。

議会を傍聴しましょう!!

議会は年4回(3月、6月、9月、12月)の定例会と随時に臨時会が開かれます。傍聴は自由に来ますので、お気軽にお出かけ下さい。

